

報告書抄録

ふりがな	みやはら・つかごしいせきだいろくちてん はっくつちょうさほうこくしょ		
書名	宮原・塚越遺跡第6地点 発掘調査報告書		
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書		
シリーズ番号	第56集		
編著者名	照林敏郎・清水理史・福泉 藍・鈴木彩乃		
編集機関	朝霞市教育委員会文化財課		
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2丁目7番22号(朝霞市博物館内)		TEL 048 (463) 2927
発行年月日	西暦2022(令和4)年12月28日		

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
みやはら・つかごしいせき 宮原・塚越遺跡 (第6地点)	あさかしねぎだいにちようめ 朝霞市根岸台2丁目 705番2の一部、 704番1の一部	11027	008-053	35度 48分 17秒	139度 36分 15秒	令和3年5月31日 ～6月15日	100.80㎡	記録保存調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
宮原・塚越遺跡 (第6地点)	集落跡	縄文時代		土器・石器	平安時代の掘立柱建物跡が1棟確認された。2間×2間の側柱建物であり、庇と考えられる柱穴も2本検出された。また、近世以降と思われる、地割に関する溝跡が1条確認された。
		古墳時代		土器	
		古代	掘立柱建物跡1棟	土器	
		中世		土器・陶器	
		近世	溝跡1条	陶器	
		近・現代	ピット5基		
		時期不明	ピット4基		

要約	<p>宮原・塚越遺跡は、現在までに6地点の調査が行われている。今回の第6地点の発掘調査では、平安時代の掘立柱建物跡、近世以降の溝跡、近・現代と思われるピット、時期不明のピット、さらに縄文、古墳、平安、中世、近世の各時代の遺物の出土が確認された。</p> <p>第6地点検出の掘立柱建物は、第1地点検出の四面庇付掘立柱建物跡とほぼ同軸であることや、出土遺物の年代等から、第1地点の掘立柱建物跡と同時期に存在し、第1地点の建物を中心とした施設に含まれる可能性が考えられる。また、同じ台地上に位置し、官衙的な様相を持つ向山遺跡、馬堀遺跡、稲荷山・郷戸遺跡との関連も注目される。</p>
----	---